

ご 挨 拶

和歌山商工会議所会頭

和歌山社会経済研究所理事長

小 林 謙 三



和歌山地域経済研究機構機関誌創刊号の発刊に際し一言ごあいさつ申し上げます。

国内経済情勢は回復過程を進んでいるといわれていますが、経済のグローバル化による国際間競争の激化、急速な技術革新、高度情報通信の進展、雇用形態の変化など産業界をとりまく環境は依然として厳しい状況が続いています。

県内の景況感に関しては、私共が調査した最近の結果を見てみましても、残念ながら回復期待よりも不安感の方が強く、売上げ不振、競争激化といった経営上の問題も挙げられています。また、商店街の衰退、後継者難、若者の県外流出といった課題にも直面しています。

これらの現状を踏まえて地域経済の原動力ともいえる地元産業界が、地域活性化に貢献し、ダイナミズム性を発揮し健全に発展していくには、常に時代の様々な変化を的確に捉え、多様化、高度化するニーズに即応できるような技術開発や戦略的企画力、新感覚の経営手法の導入などの経営革新や能力開発を中心とした人材育成に取り組む必要があります。高度化した情報の進展によって経営戦略を備えうる広域的なネットワークの整備を行うことも必要なことは言うまでもありません。

そのために地元大学と産業界各々の持てる力を結集して、技術集約性や知識集約性の向上を図り、地域経済の発展施策を探ることが課題となっていました。

このような観点から平成8年7月に和歌山大学、和歌山社会経済研究所と和歌山商工会議所の三者によって、「和歌山地域経済研究機構」と名付けられた共同研究機構が創設されました。

今後、和歌山地域経済研究機構に対しましては、和歌山県の市場構造の根本的な分析を行い、競争市場環境の変化に対応した企業構造のあるべき姿などに関して、高度な情報を発信するとともに、和歌山大学システム工学部、近畿大学生物理工学部と和歌山商工会議所によって設立された「産学交流センター」や行政とも広く連携を保ちながら、21世紀に向かって、和歌山県の地域特性を十分生かし、更なる地域経済の発展に寄与されることを期待します。